

議事結果 摘録

会 議 名	令和7年度第1回古河市こども未来応援会議
日 時	令和7年5月28日（水）午後2時から午後3時30分まで
場 所	総和第2庁舎（3階） 会議室1・2
出席委員	会長 楠田 和仁 副会長 福田 すみ子 委員 佐藤 智晶 委員 中村 美智子 委員 初見 将治 委員 塩澤 聡美 委員 稲見 裕子 委員 友野 とも子 委員 大久保 正喜 委員 加藤 美恵子 委員 新井 由香 委員 吉羽 一晃 委員 工藤 義人 委員 小林 淳子 委員 大塚 忍 委員 大里 友美
欠席委員	委員 大高 滋
事務局	福祉部 部長 池澤 こども政策課 課長 樋口 課長補佐 鹿久保 係長 松本 主幹 松永 主事 谷田部
議 事	（1）古河市こども計画について （2）古河市こどもの意見表明について （3）古河市こどもの居場所支援事業について （4）古河市ファミリー・サポート・センター事業と古河市地域子育て支援センターの連携について
審議の内容 （主な意見 事務局回答）	（1）古河市こども計画について ・近隣市町村のこども計画の策定状況はどうなっているのか。 →令和7年1月時点では茨城県内4割程度の市町村がこども計画を策定している状況である。 ・重点施策にある遊びと育ちの場所づくりについてどのように進めていく予定か。 →既存の公共施設（公民館、公園、運動施設等）をこども達に開放できるように進めていく予定である。令和7年6月より地域交流センターや公民館の予約が高校生の団体も利用できるようになった。 （2）古河市こどもの意見表明について ・こどもの意見表明について古河市ではこども会議等の方法を考えているのか。 →こども会議等も意見表明の方法として有効であるが、古河市では、意見を表明することが難しいこどもが意見を表明できる機会も重要と考えており、匿名性等も考慮しながら様々な方法で意見表明の機会を確保することを検討している。 ・こども達にとって大人だけではなく、中学生、高校生のお兄さん、お姉さんに話せることもあると思うので、交流し、意見を表明できる場を検討して欲しい。 →比較的年齢に近い世代との交流も意見表明の方法として検討していきたい。

(3) 古河市こどもの居場所支援事業について

- ・こどもの居場所づくりにおける居場所コーディネーターは現在、配置されているのか。配置されていない場合は、何名程度の配置を検討しているのか。資格が必要なのか。
- 現在、事業者を選定しているため配置されている居場所コーディネーターは0人である。資格は必要ないが、居場所に関する地域資源の把握、関係機関とのネットワークの形成、居場所の運営や人材育成の組織経営のサポート、居場所に関するこども若者のニーズの把握、居場所のマッチングなどが必須業務としているので、それらを実施するために必要な人数を配置する予定である。

(4) 古河市ファミリー・サポート・センター事業と古河市地域子育て支援センターの連携について

- ・事業の周知方法についてどのように検討しているか。
- 「古河市子育て応援アプリこがすく」及び古河市のLINE公式アカウントを活用し、周知していく予定である。子育て世代が集まる場所でも周知を図っていきたい。